平成２９年第１２回定例会会議録要旨

◆開催日時　　平成２９年１２月２６日（火）　　午後３時００分開会

◆開催場所　　国富町農村環境改善センター　Ｃ会議室

◆出席委員　　木下正明　　豊田畩光　二上由美　海老原千浩　山本憲一

◆欠席委員　　なし

◆出席職員（事務局）　　井戸川行利　　松岡徳　　中島達晃　　馬乗園寛子

◆議　　案　　議案第３７号　国富町いじめ防止基本方針の一部改正について

◆教育長報告要旨（１２月１日～１２月２８日行事実績）

①教育総務課

　　　○１２月７日（木）～１３日（水）町議会第４回定例会

　　　　　１１日・１２日に一般質問が行われ、１３人の議員のうち９人が質問されました。教育委員会関係の質問もとても多く、まず教育総務課関係では「男女混合名簿について」、これは児童・生徒を性別に関係なく生年月日等で並べた名簿になりますが、宮崎県全体では導入している学校は小学校でも１割ほどで、他県と比べると導入が進んでいない状況です。これについてどう考えているのかという質問でしたので、校長がそのときの状況に応じて適切に判断して決定する、と答えました。その他の質問では、「学校補助職員・補助教員の処遇改善について」、「中学校の部活動について」、「いじめ・不登校対策について」、「本庄高校総合学科について」がありました。

　　　　　また、社会教育課関係では、「公園・広場への健康遊具の設置について」「アリーナくにとみの利用状況について」、「木脇地区への公園設置について」といった質問がありました。

　　　　　学校給食共同調理場関係では、「食物アレルギー対応について」、「残留農薬チェックについて」の質問がありました。

○１２月２２日（金）町内小・中学校終業式

　　　　　小中学校が２学期の終業式を迎えました。最後の週になって、森永小学校でインフルエンザによる学級閉鎖がありましたが、大きな事故や問題がなく終わることができてよかったと思います。

　　　○１２月２７日（水）本庄高校魅力化推進協議会の県教育長への要望書提出

　　　　　本庄高校への進学者を増やすための取組みとして、県教育委員会へ「コミュニティスクールの指定」「学校改革実現における人的配置及び財政支援」を要望します。

②社会教育課

　　　○１２月８日（金）市町村対抗駅伝大会結団式

　　　　　１月８日成人の日に大会が行われます。小学生男女、中学生、高校生、一般の部、全部で１２名の選手が国富町のタスキを繋いで走ります。

　　　○１２月１０日（日）第２３回青少年健全育成町民大会

　　　　　海老原委員にも出席していただきました。小・中・高校代表の作文発表や、童謡祭が行われましたが、大ホール内はいっぱいで、後方には立っている人もいたほどでした。このときの開会式の挨拶のなかで町長が本庄高校について触れられました。１２月１６日に東京大学を会場に行われた「地方創生政策アイデアコンテスト」の全国大会に、本庄高校生のチームが代表として選ばれ、「健康寿命の延伸　ビジネスプラン」というテーマで発表をし、企業賞を受賞しました。このことを町長が話されると、会場の方々はびっくりされており、また、来場されていた本庄高校の校長・教頭先生も喜んでおられました。

　　　○１２月１７日（日）第２４回法華嶽旗争奪小学生バレーボール大会

　　　　　鹿児島県・大分県からも含めて男子１２チーム、女子２４チームが参加し、決勝はアリーナくにとみで開催されました。男子は、１０月の町民祭で青少年栄誉賞を受賞した「くにとみＪＶＣ」が優勝しました。

二上委員　　男女混合名簿についてですが、学校の現場としては管理上、子どもたちの活動上男女を分けることも必要なことなので、男女共同参画という観点だけで話しが進むのには違和感がありますが、混合名簿の導入に取組んでいる県域が多いことに驚きました。

急いで混合名簿に変更すべきかどうかは、校長裁量があると思いますし、導入していないことが遅れていることではないと思います。学校現場はどう思っているのでしょうか。

井戸川課長　　学校としては、様々な場面、保健や体育の時などは、やはり男女別のほうがやりやすいこともあり、男女混合名簿の今すぐの導入は考えていないようです。しかし、今後は必要になってくるだろうと考えている校長先生もおられました。

教育長　　　学校現場の話をすると、例えばテストの男子平均・女子平均を出さねばならないと

きや、健康診断などでは男女を分ける必要があるので、混合名簿と男女別名簿とで二重名簿になって、手間が増えるという懸念があります。また、男女混合名簿を使用しているからといって、人権感覚が高まっているという捉え方は違うのではないでしょうか。混合名簿がすべての解決策ではないと思います。ただ、ＬＧＢＴと呼ばれるような性的少数者の方への配慮はやらなければならないと思います。

委員長　　　女性は女性らしさ、男性は男性らしさがなぜ悪いかと思います。やっぱり女性は女性しか持っていないやさしさ思いやりとか男にないものとかあってもいいのではないかという気がします。

教育長　　　差別と区別はちがう、ということがあります。男女混合にするかはともかくとして、式典などの入場に性別は関係ないと伝えています。

海老原委員　　保育園では、年齢別で分けるだけで男女はいっしょです。年齢別の誕生日順で男女は分けていません。

教育長　　　保育園くらいの年代では男女の差はほとんどないので、いっしょでもそれほど問題

はないのでしょう。

　　　　　　呼び方では、男女を「くん」「さん」と呼び分けずに、男の子も「さん」呼ぶ意見もあります。学校ではどうですか。

山本委員　　低学年の担任をされている先生の中には男女混合の名簿も作ってらっしゃいましたが、特に違和感はありませんでした。その先生は呼び方も男女とも「さん」で統一されていました。

教育長　　　実際に苦しんでいる子がいるのが現実ですので、注意を払う必要があります。ただ、このことについては、学校の裁量で判断してもらう事項だと思います。男女混合名簿の導入は、手段であって、ゴールではありません。

◆議事要旨

議案第３７号国富町いじめ防止基本方針の一部改正について

国及び県のいじめ防止基本方針が一部改正されたことに伴い、平成２６年４月に策定している国富町いじめ防止基本方針の一部を改正するものです。

　　【資料を基に説明】　　　　　　　　　　　　　　【原案のとおり決定】

◆その他

◇行事予定について　各課行事予定表に基づき説明

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（閉会午後４時３０分）